

特定非営利活動法人SET

りくぜんたかだ
〔岩手県陸前高田市〕

○修学旅行市場で絶対数の顧客基盤作りを目指した結果、2019年は東北地区最大の4000名以上の受入を達成。修学旅行だけで10,000人を早期に達成させ、沖縄、南信州と並ぶ日本三大教育旅行民泊地となることが第一目標。

○教育旅行取扱によって得られた人、物、金、ノウハウはそのまま、インバウンド市場において滞在促進となるプログラムを造成中。私有地や休眠資産を活用(シェアリング)した、アルベルゴ・デ・フーズや私有地キャンプ場、農家・漁家めし場が造成中。

岩手県陸前高田市



【採択年度】
平成30年度

【事業実施期間】
平成30～31年度

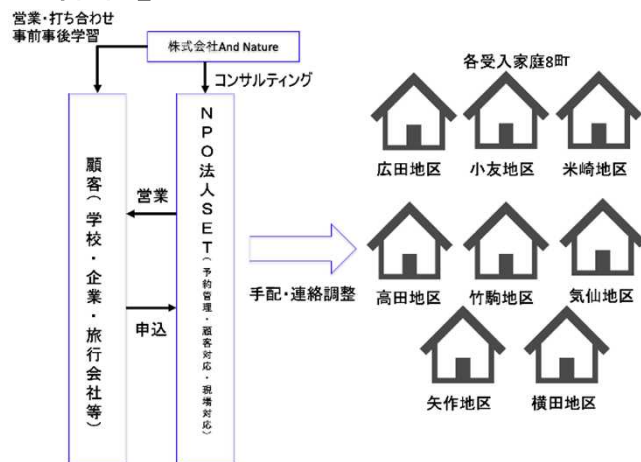


高台移転後の市の中心「ア
パッセたかた」



観光資源として震災遺構を
取り壊さず活用したタビック

【実施体制】



【特徴的な取組】

- 教育旅行の絶対的顧客基盤確立と顧客データの能動的利用
- エリアを一つの宿泊施設(アルベルゴ・デ・フーズ)の造成
- 農家私有地のシェアリング
(例) キャンプ場等

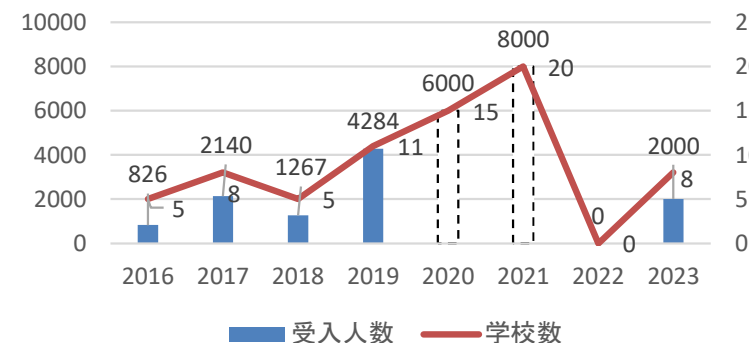


農家私有地キャンプ場



アルベルゴ・デ・フーズ

【取組内容】 修学旅行受入推移 ※2022年以降は目標値



■修学旅行以外の実績(2021年度現在)

- ・インバウンド、一般企業、大学
- ①民泊(大学、企業、インバウンド) 2,195人
- ②地域課題解決スタディツアー 4,170人
- ③中期移住留学 20名

■修学旅行以外の顧客としてインバウンド

本年よりインバウンドを対象市場と捉え、滞在プログラムとして地域を一つの宿泊施設と捉えたアルベルゴ・デ・フーズを本格稼働。併せて、地域の私有地をキャンプ場、農家めし、などを整備

■受入民家の数

2015年は3軒でスタートした農泊受入民家も2019年には180軒まで増えたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、訪れる団体が0になったことから多くの家庭が離脱し、実数は把握できていない

インバウンド対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約